

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

(様式3)

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	08-08	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係(内) 29-323

I 基本事項 (基準日時点)

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)							
地区名	ふりがな 安平川	市町村名	苫小牧市・安平町	総事業費	122,817 百万円			
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—
		67,549 百万円		55,268 百万円		— 百万円		— 百万円

事業目的・目標	●安平川は、太平洋に注ぐ二級河川で、S25年(1950年)より安平川の河川改修事業に着手。 ●その後もS37年(1962年)8月に支川勇払川、S56年(1981年)8月、S62年(1987年)8月には支川明野川、ニタッポロ川などにおいて家屋浸水など多大な被害が発生したため、S39年(1964年)より勇払川、H4年(1992年)よりニタッポロ川、H6年(1994年)より明野川の改修に着手。 ●また、安平川下流区間は、千歳川放水路の計画区間であったが、H16(2004年)年に石狩川水系河川整備基本方針が策定され、放水路計画の中止が確定したため、H25年(2013年)に安平川下流区間及び遠浅川の改修に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、苫小牧市明野元町地区、安平町早来地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。				
	【アウトカム】 等 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 3,702戸→0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 508ha→0ha				

事業概要	安平川は、河口から30.1kmの区間、支川勇払川は安平川合流点から15.7kmの区間、その他3支川を含めた合計63.1km区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q=470m ³ /s	(百万円)	(百万円)	(百万円)
				(支川勇払川Q=200m ³ /s)	変更前	変更後	増減額
			計画延長	L=63,100m			
			築堤工	L=90,352m	6,873	11,981	5,108
			掘削工	L=63,100m	27,119	30,355	3,236
			護岸工	L=44,401m	7,421	7,950	529
			附帯工事	道路橋38橋、JR橋10橋等	41,059	46,155	5,096
			測量設計費	調査・設計	7,361	9,136	1,775
			用地補償費	用地買収・物件補償	17,200	17,240	40
			計		107,033	122,817	15,784

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進(強靱化)

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	—

II 公共事業評価経過

(単位：百万円)

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							68,727	30,927			
事前評価又は当初	S25 (1950)	S25 (1950)		H31 (2019)							
前回再評価	S25 (1950)	S25 (1950)	H30 (2018)	H55 (2043)		107,033	48,165		40,886	38%	
今回評価			R5 (2023)	R25 (2043)	73	122,817	55,268	950	46,077	38%	

変更理由・内容(概要)	(1)軟弱地盤対策のため、築堤断面が大きくなったことによる施工費及びその検討に伴う測量設計費の増額 (2)環境保全措置が必要となったことによる調査費の増額 (3)資材、労務単価や消費税率の変更による増額
-------------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	●S22年(1947年)9月 浸水被害が発生(浸水面積900ha) ※安平川 ●S37年(1962年)8月 浸水被害が発生(ウトナイ湖周辺の農地冠水) ※勇払川 ●S56年(1981年)8月 浸水被害が発生(浸水面積2,040ha、浸水家屋375戸) ※安平川、ニタッポロ川、明野川 ●S62年(1987年)8月 浸水被害が発生(浸水面積226ha、浸水家屋130戸) ※安平川、ニタッポロ川、明野川
2. 事業検討の手續(住民への把握等)	●S25年(1950年)4月 安平川本川の改修事業に着手 ●S39年(1964年)4月 勇払川の改修事業に着手 ●S57年(1982年) 石狩川水系工事実施基本計画により、安平川の下流の一部が千歳川放水路計画のルートとして設定 ●H1年(1989年) ニタッポロ川について、早来町(現安平町)より準用河川(町管理河川)から二級河川(道管理河川)へ指定及び河川改修の要望 ●H3年(1991年) 明野川について、苫小牧市より準用河川(市管理河川)から二級河川(道管理河川)へ指定及び河川改修の要望 ●H4年(1992年)4月 ニタッポロ川の改修事業に着手 ●H6年(1994年)4月 明野川の改修事業に着手 ●H16年(2004年) 石狩川水系河川整備基本方針により千歳川放水路計画の中止が確定 ●H21年(2009年) 遠浅川について、安平町より普通河川(町管理河川)から二級河川(道管理河川)へ指定及び河川改修の要望 ●H25年(2013年)4月 安平川下流区間及び遠浅川の改修事業に着手

3. 事業効果を及ぼす地域・対象	● 苫小牧市明野元町地区、安平町早来地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積5,166ha（うち農地508ha）、浸水防止家屋3,702戸				
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工（工種）区分	工事内容	S25	S26	S27	～	R3	R4	R5	R6	R7	～	R25	進捗状況	事業費（百万円）
	築堤工	L=90,352m				L=35,288m							L=55,064m	31%	11,981
	掘削工	L=63,100m				L=5,406m（暫定27,730m）							L=57,694m	26%	30,355
	護岸工	L=44,401m				L=28,982m							L=15,419m	53%	7,950
	附帯工事	道路橋38橋、JR橋10橋等				道路橋22橋、JR橋9橋等							道路橋16橋、JR橋1橋等	31%	46,155
	測量設計費	調査・設計												76%	9,136
用地費及補償費	用地買収・物件補償												55%	17,240	
(2) 進捗状況															
勇払川、ニタッポロ川、支安平川は暫定整備が完了しており、現在は安平川下流の河道内調整地及び安平川、明野川の暫定断面による整備を促進している。事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。															
a : 概ね予定どおり実施している。 b : 事業計画・期間等を変更し実施する。 c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている。															

2. 事業効果	経済効果の内訳（百万円）		費用の内訳（百万円）		備考
	項目	R5現在	項目	R5現在	
	洪水被害防止効果	281,599	建設費	91,491	● 「治水経済調査マニュアル（案）」（国土交通省R2(2020)）に基づき算出 ● 効果は、洪水氾濫における直接被害額（家屋、公共土木施設、農地等）及び間接被害額（営業停止被害等）により年平均被害軽減期待額を算出 ● 効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出し、R5(2023)に現在価値化した値 ● 費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	340	
	合計（B）	281,599	合計（C）	91,831	
B/C	前回算定年度 : H30年度（2018年度）【再評価】 前回算定時B/C : 1.69（合計(B)115,107 合計(C)68,193） 変更理由 :				
R5現在	3.07 ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアルの改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことによる。				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
	施工の最適化	他事業の発生土を盛土材へ有効活用	360
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用	17

V 評価

1. 必要性	● 本事業は、苫小牧市明野元町地区、安平町早来地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH24年(2012年)9月（宅地1ha）などに浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。	
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題	
	● 魚類などに配慮し、現況河床や現況河岸を極力保全している。 ● 河畔林を極力保全している。 ● 安平川下流の湿地環境を保全するため、改修方法として河道内調整地を採用している。 ● 明野川では低々水路を設け、魚類が生息できる水深を確保する。 ※直近の評価以降の状況変化はない。	
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向	
● 苫小牧市、安平町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 ※直近の評価以降の状況変化はない。		
(3) その他の課題		
● 特になし ※直近の評価以降の状況変化はない。		

3. 事業達成の見込み	事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。					
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和25(2043)年度の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】
	事前評価： 再評価：H30年度実施 評価結果：継続（変更無し） B/C：1.69
2. その他の取組事項	【特記事項】

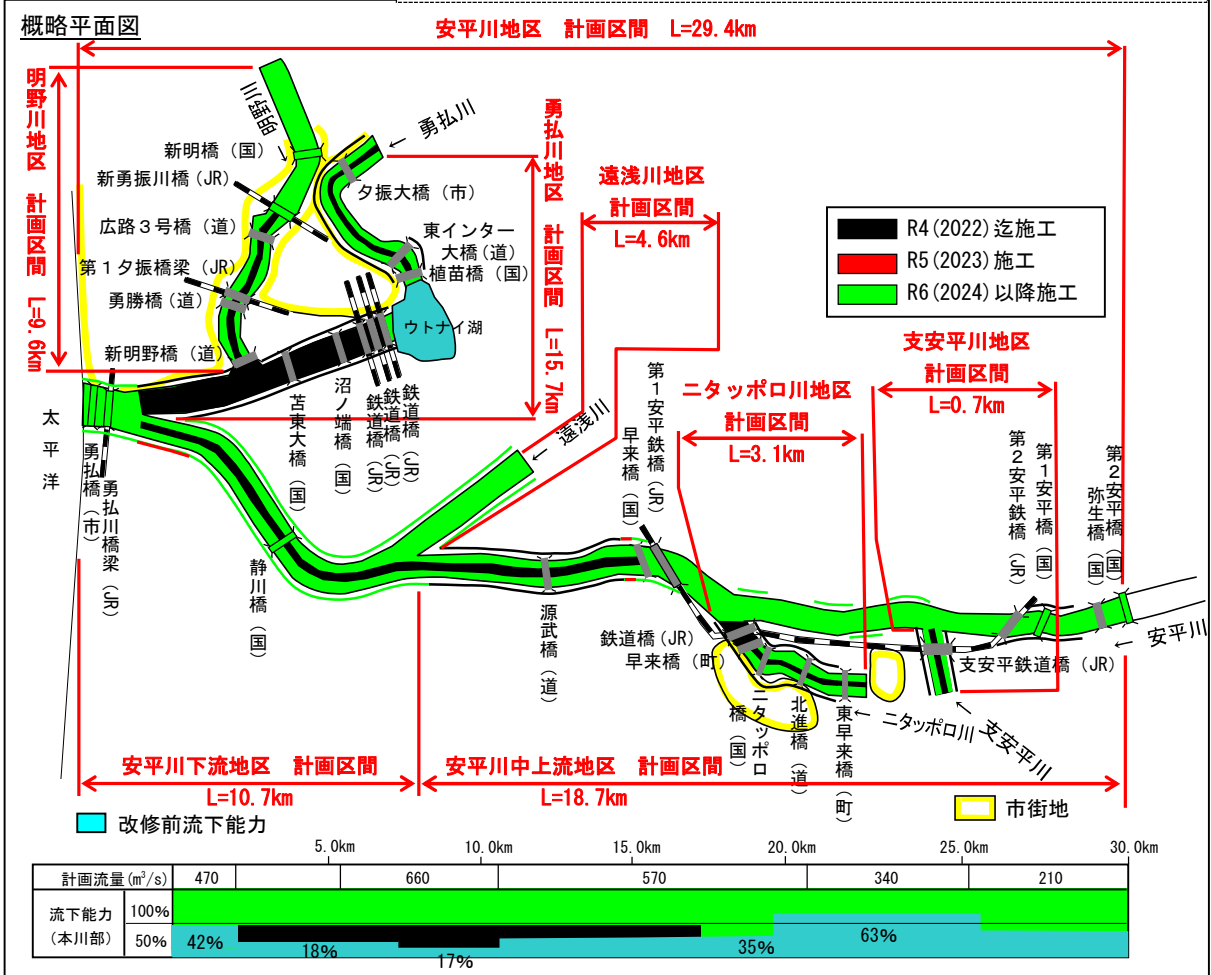
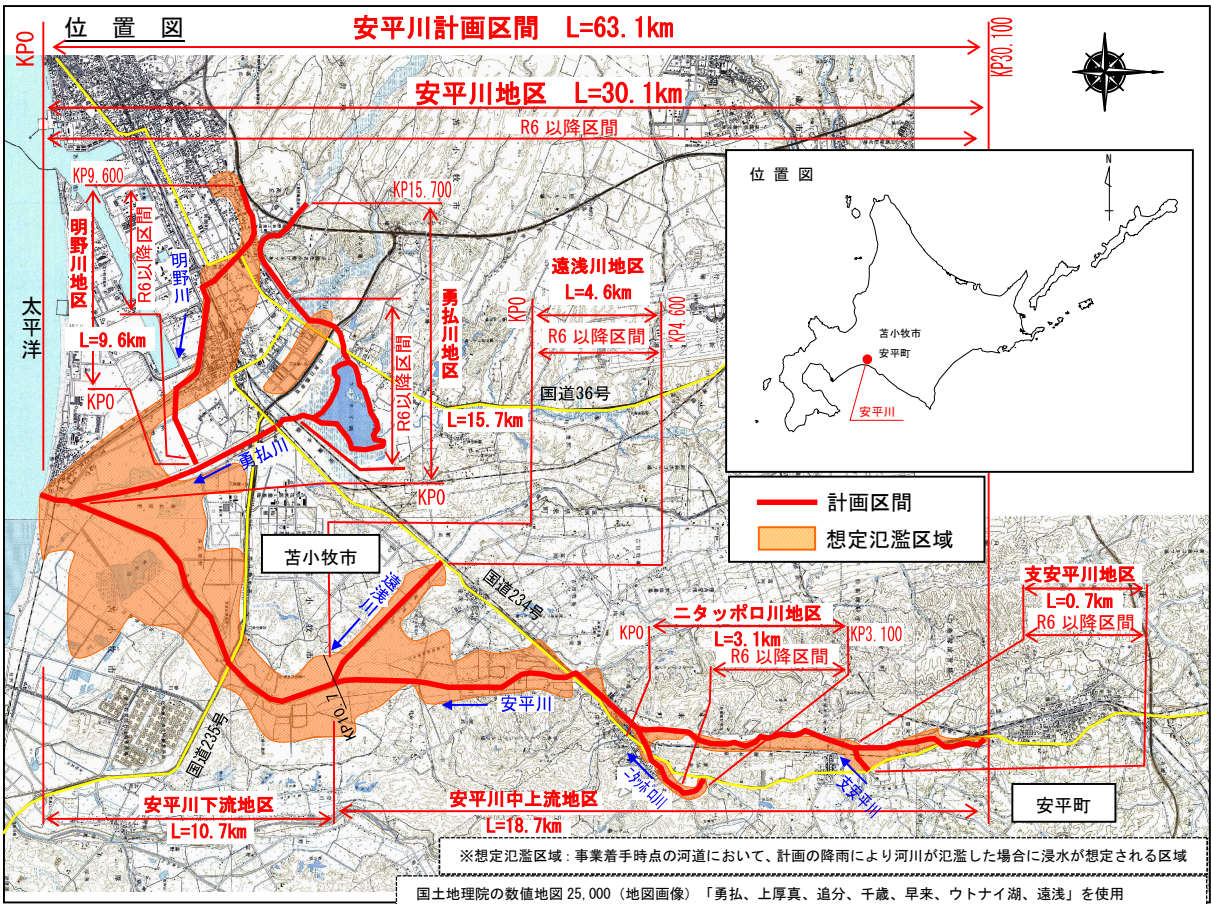
補足資料

VII 事業計画変更

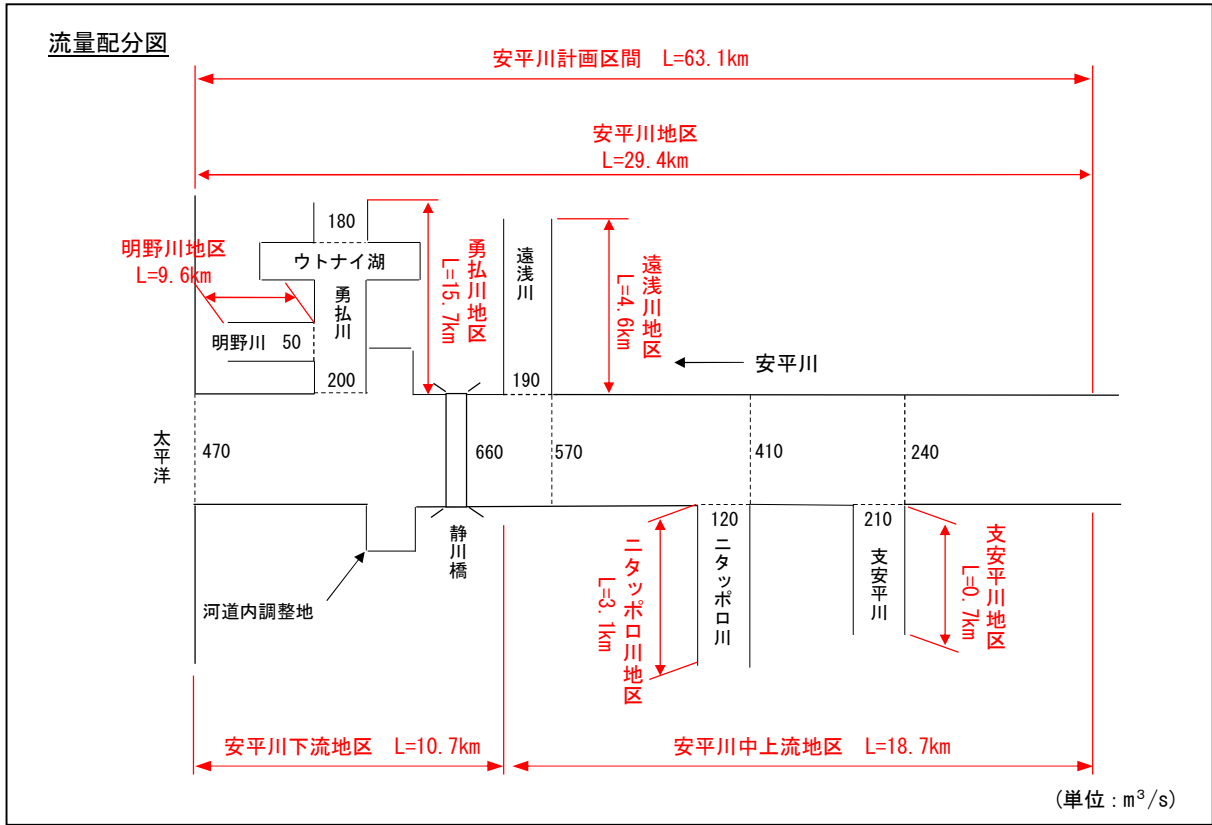
(単位：百万円)

事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費(a)	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		S25 (1950)	S25 (1950)			H31 (2019)	68,727			
変更①				H15 (2003)	H15 (2003)	H37 (2025)	69,717			
変更②	1回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H55 (2043)	95,317			
変更③	2回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H55 (2043)	107,033			
変更④	3回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R25 (2043)	122,817	950	46,077	38%
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
							73			
変更理由・内容							変更①：総事業費の変更 ・ 事業費精査による増額 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・ 安平川の下流区間、遠浅川の改修事業を追加したことによる増額 ・ 事業費の増額に伴い、残事業の施工期間を精査したことなどによる事業期間の延伸 変更③：総事業費の変更 ・ 資材及び労務単価の上昇などによる増額 変更④：事業期間・総事業費の変更 ・ 軟弱地盤対策のため、築堤断面が大きくなったことによる施工費及びその検討に伴う測量設計費の増額 ・ 環境保全措置が必要となったことによる調査費の増額 ・ 資材、労務単価や消費税率の変更による増額			

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	安平川	採択年度	S25 (1950)
-----	--	-----	-----	------	---------------



事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	安平川	採択年度	S25 (1950)
-----	--	-----	-----	------	---------------

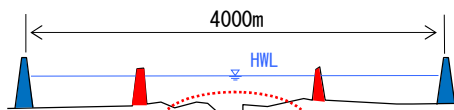


計画諸元						
河川名	安平川	遠浅川	勇払川	ニタツポロ川	支安平川	明野川
流域面積 (km ²)	539.2	84.6	234.1	27.3	52.2	14.7
計画延長 (km)	29.4	4.6	15.7	3.1	0.7	9.6
氾濫面積 (ha)	3,596		904	50	安平川に含む 616	
計画降雨	165 mm/日					
計画高水流量 (m ³ /s)	470	190	200	120	210	50
計画勾配	1/3550~1/400	1/4000	1/3300~1/600	1/400~1/250	1/370	1/2000~1/874



【安平川地区】

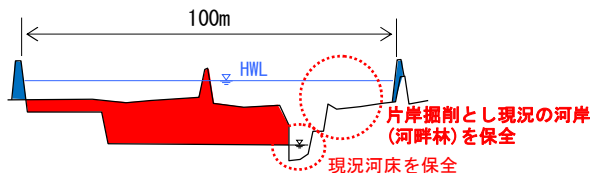
河口から約4km地点 (河道内調整地区間)



現況河床や現況河岸を保全 (魚類等に配慮、地下水位の低下による影響を軽減)

【安平川地区】

河口から約16km地点



片岸掘削とし現況の河岸 (河畔林) を保全
現況河床を保全

湿地環境を保全するため、改修方法として河道内調整地を採用

安平川 (安平町)

出水状況 (昭和56年8月)

